

これまでの取組事項について(ワーキングチーム)

令和4年8月9日

北海道開発局



総合通信局

農政事務所

森林管理局

経済産業局

開発局

運輸局

環境事務所

北海道

目的

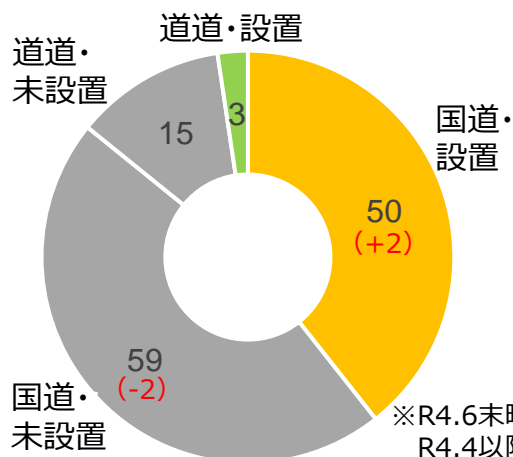
○次世代自動車の普及を促進させるため、道の駅設置者である市町村や道の駅管理者と連携し、「道の駅」に急速EV充電施設の設置を目指す。

活動

○設置意義等の普及啓発及び相談対応や、整備事例、活用可能な国の補助金の情報提供等に取り組む。

道内「道の駅」の急速EV充電施設 設置率は約4割（53/127）

【設置例】道の駅おとふけ



※R4.6末時点
R4.4以降、「おとふけ」、「なかさつない」
の2駅に新たに設置



活動状況

- 第1回WT（R4.4.26）
 - ・今後の活動内容について協議。
- 市町村への普及促進活動。（R4.5～）
 - ・市町村に対して整備事例、補助金の情報提供や課題についてヒアリング。（179市町村）
- 第2回WT（R4.7.26）
 - ・普及促進活動で得た課題の対応策について検討。

担当

経済産業局：地域経済部製造・情報産業課、資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課

開発局：建設部道路計画課◎

環境事務所：環境対策課

北海道：環境生活部セカホン推進局セカホン戦略課、経済部環境・エネルギー局環境・エネルギー課、建設部建設政策局建設政策課

総合通信局

農政事務所

森林管理局

経済産業局

開発局

運輸局

環境事務所

北海道

目的

○河川管理及び森林管理において発生するバイオマス資源の利用を促進させるため、伐採木や林地未利用材等の**情報発信面での連携を目指す。**

活動

○第1段階として、それぞれの情報を掲載する**ホームページを連携させる。**
○バイオマス事業者のニーズ等を踏まえ、更なる改善の可能性を検討する。

【河川管理者】

開発局と北海道は、個別に実施してきた河道内樹木の伐採木のバイオマス事業者等への提供に関し、全道一括の情報発信(木材バンク)を開始。



森林管理局と北海道は、森林管理の中で発生する林地未利用材、工事支障木、風倒被害木等の発生情報をバイオマス事業者等に向けて発信。



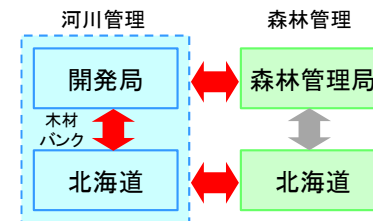
【森林管理者】

経済産業局
農政事務所

市町村や発電事業者等とのネットワークを活かした「プッシュ型の情報提供」と「ニーズ等の把握」

活動状況

- 第1回WT (R4.6.23)
 - ・農政事務所の参加
 - ・今後の活動内容について協議
- ホームページの連携開始 (R4.4.12、R4.6.28)



担当

経済産業局：資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課

農政事務所：生産経営産業部 事業支援課【参加】

森林管理局：総務企画部 企画課○

開発局：建設部 河川管理課○

北海道：水産林務部林務局林業木材課・森林環境局道有林課、建設部建設政策局維持管理防災課